



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月5日

上場会社名 ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6544 URL https://www.jes24.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 石田 克史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員CFO (氏名) 今村 公彦 TEL 03-6262-1625
 経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	17,230	9.5	2,577	30.8	2,663	36.0	1,712	42.6
2020年3月期第3四半期	15,732	22.7	1,969	38.4	1,957	40.3	1,201	38.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,702百万円 (43.8%) 2020年3月期第3四半期 1,184百万円 (41.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	20.16	19.39
2020年3月期第3四半期	14.86	13.87

(注) 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	19,390	9,827	49.7
2020年3月期	14,297	5,177	35.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 9,630百万円 2020年3月期 5,135百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	18.00	18.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	11.00	11.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っているため、2021年3月期（予想）の期末の1株当たり配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2021年3月期（予想）の期末配当金は22円00銭となります。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	12.5	3,550	30.6	3,650	35.0	2,300	35.2	26.85

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年3月期通期の1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	88,554,000株	2020年3月期	81,077,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	230株	2020年3月期	172株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	84,984,012株	2020年3月期3Q	80,820,536株

（注）当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
3. その他	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により停滞していた経済活動の再開に伴い足下の景気動向には持ち直しの動きが一部で見られるものの、依然として厳しい状況にあることから、企業の経費削減ニーズは今まで以上に高まると予想されております。

エレベーター等のメンテナンス業界においては、金融緩和政策による低金利等の下支えに伴う分譲マンション戸数の増加等の要因により、市場は緩やかな拡大傾向にあります。

このような市場環境の下、当社グループは、独立系メンテナンス会社への契約切り替えによる企業のコスト削減ニーズの急増に応えるため、これまで以上に人員の拡充・営業体制の強化を進めております。加えて、大型法人契約の推進、関西・東海エリアでの新規拠点の開設による営業エリアの拡大、同業他社のM&Aによるシェアアップ等を行ってまいりました。また、JES Innovation Center(通称JIC)の隣地に高層のテストタワー、R&Dセンターなど開発関連部署を集約したJES Innovation Center Lab(通称JIL)が竣工いたしました。JILの竣工により、当社における研究開発体制の一層の強化を図ってまいります。

保守・保全業務については、保守契約台数が堅調に推移し、当第3四半期連結累計期間の保守・保全業務の売上高は12,657百万円(前年同期比13.8%増)となりました。リニューアル業務については、緊急事態宣言に伴い工事日程の再調整及び完工引き渡し時期がスライドした影響等により、当第3四半期連結累計期間のリニューアル業務の売上高は4,021百万円(前年同期比1.6%減)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は17,230百万円(前年同期比9.5%増)、営業利益は2,577百万円(前年同期比30.8%増)、経常利益は2,663百万円(前年同期比36.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,712百万円(前年同期比42.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より5,092百万円増加し、19,390百万円となりました。これは主に、現金及び預金が814百万円、有形固定資産が2,112百万円、無形固定資産が1,388百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における総負債は、前連結会計年度末より442百万円増加し、9,562百万円となりました。これは主に、長期借入金が939百万円減少した一方で、買掛金が128百万円、短期借入金が1,158百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より4,650百万円増加し、9,827百万円となりました。これは主に、資本金が1,758百万円、資本剰余金が1,758百万円、利益剰余金が983百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想については、2020年11月12日に公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,145,583	1,960,472
受取手形及び売掛金	2,781,798	3,112,644
原材料及び貯蔵品	1,816,533	2,165,498
その他	615,352	742,128
貸倒引当金	△2,799	△6,850
流動資産合計	6,356,468	7,973,894
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,897,536	4,709,244
工具、器具及び備品(純額)	1,125,615	1,776,947
その他(純額)	1,649,345	1,299,226
有形固定資産合計	5,672,496	7,785,418
無形固定資産		
のれん	265,342	1,536,175
その他	779,257	897,375
無形固定資産合計	1,044,599	2,433,550
投資その他の資産		
その他	1,248,005	1,244,837
貸倒引当金	△24,346	△47,579
投資その他の資産合計	1,223,659	1,197,258
固定資産合計	7,940,755	11,416,227
資産合計	14,297,223	19,390,122
負債の部		
流動負債		
買掛金	695,229	824,007
短期借入金	2,346,500	3,504,868
未払法人税等	601,168	426,620
賞与引当金	503,500	334,109
その他	2,205,910	2,333,341
流動負債合計	6,352,310	7,422,947
固定負債		
長期借入金	1,814,174	874,571
退職給付に係る負債	693,074	828,844
資産除去債務	250,950	386,206
その他	9,624	49,580
固定負債合計	2,767,823	2,139,203
負債合計	9,120,133	9,562,150

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,321	2,459,166
資本剰余金	1,136,623	2,895,467
利益剰余金	3,381,715	4,364,980
自己株式	△112	△209
株主資本合計	5,218,548	9,719,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	910	3,311
為替換算調整勘定	△54,537	△66,057
退職給付に係る調整累計額	△29,267	△25,834
その他の包括利益累計額合計	△82,894	△88,580
新株予約権	23,218	—
非支配株主持分	18,217	197,147
純資産合計	5,177,089	9,827,971
負債純資産合計	14,297,223	19,390,122

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	15,732,927	17,230,445
売上原価	9,968,812	10,478,010
売上総利益	5,764,115	6,752,435
販売費及び一般管理費	3,794,266	4,174,973
営業利益	1,969,848	2,577,461
営業外収益		
保険解約返戻金	2,732	96,008
その他	11,635	16,570
営業外収益合計	14,368	112,579
営業外費用		
支払利息	10,372	9,330
新株発行費	—	14,248
持分法による投資損失	9,030	—
その他	7,157	3,273
営業外費用合計	26,560	26,852
経常利益	1,957,656	2,663,188
特別利益		
固定資産売却益	440	19
段階取得に係る差益	—	14,972
特別利益合計	440	14,992
特別損失		
固定資産除却損	273	2,386
その他	1,662	2,536
特別損失合計	1,935	4,922
税金等調整前四半期純利益	1,956,162	2,673,258
法人税、住民税及び事業税	673,427	877,153
法人税等調整額	90,140	87,777
法人税等合計	763,568	964,931
四半期純利益	1,192,594	1,708,327
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,564	△4,631
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,201,159	1,712,958

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,192,594	1,708,327
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	797	2,400
為替換算調整勘定	△12,267	△11,361
退職給付に係る調整額	3,609	3,433
持分法適用会社に対する持分相当額	△473	—
その他の包括利益合計	△8,334	△5,527
四半期包括利益	1,184,260	1,702,800
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,193,015	1,707,272
非支配株主に係る四半期包括利益	△8,755	△4,472

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,758,844千円増加しております。これにより、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,459,166千円、資本剰余金が2,895,467千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、第1四半期連結会計期間において、セイコーエレベーター株式会社の株式を、第2四半期連結会計期間において、株式会社NSエレベータの株式を取得したため、連結子会社としております。

また、当第3四半期連結会計期間において、株式会社三好エレベータ、株式会社関西エレベーター、株式会社コスモジャパン、株式会社長野エレベーターの株式をそれぞれ取得したため、連結子会社としております。

3. その他

該当事項はありません。